

県直営による公の施設の管理運営状況

施設の名称	群馬県立農林大学校
所在地	高崎市箕郷町西明屋1005
所管部局・課	農政部 農業構造政策課

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

農業改良助長法、学校教育法第124条、群馬県立農林大学校の設置及び管理に関する条例

2 施設の役割

(1) 設置目的

農林業技術及び経営管理に関する専門的かつ高度な能力を有する人材の養成並びに農林業の担い手及び県民に対する発展段階に応じた農林業に関する研修を行う。

(2) 設置当初の状況

農林業の総合施設として、近代的な施設を備え、理論と実践のバランスある教育方法により、時代の変化に対応できる能力を習得させ、本県農林業の振興と優れた人材を育成してきた。

開校当時は、園芸・畜産・経営・蚕業・林学科の5学科定員120名でスタートし、開校後5年間の卒業生の進路は、約46%が農業関係団体や農業関係企業への就職、約27%が就農、14%が公務員となっている。

協同農業普及事業における農業者研修教育施設である本校は、寮生活を通じて自立と協調の精神を涵養することを目的に開校以来全寮制としていたが、平成20年度からは2年次は原則通学制とした。

(3) 施設を取り巻く現状

学生定員が充足できない状態が続いているが、時代の変化に対応するため、H29年度にはコースの改編・募集人員の見直しを行うなど、入校者ニーズを踏まえた学校改革を進めている。過去5年間の卒業生の進路は、就農が36%、JA等農林業団体が17%、農林業関連企業を含む民間企業が36%、公務員が6%となっている。

また、多様な担い手を確保、育成するため、定年帰農者や他産業等からの就農希望者等に対する就農準備研修などの充実を図っている。

3 施設の概要

設置年月日	昭和58年4月1日
敷地面積(所有者)	279,990平方メートル(群馬県)
主な施設(床面積、階数等)	別紙
建設費	約3,950,000千円

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	入校式
授業料	118,800円/年	4月11日
		夏季休業 7月21日～8月31日
		冬期休業 12月21日～1月9日
		卒業式 3月20日
		春期休業 3月21日～
		各種研修 通年

4 施設における実施事業

(1) 農林部(定員)

・農業経営学科

野菜コース(20名)、花き・果樹コース(15名)、酪農肉牛コース(15名)、社会人コース(5名)

・農林業ビジネス学科

農と食のビジネスコース(25名)、森林コース(20名)

(2) 研修事業(定員及び実績)

ぐんま農業実践学校(145名)、農と食のふれあい講座(510名)、食農教育(平成28年度参加延べ数 255名)、農業機械研修(平成28年度実績 844名)

5 管理運営コストの状況

(千円)

区 分	29年度(当初予算額)	28年度(決算額)	27年度(決算額)	26年度(決算額)	25年度(決算額)
歳 入 (1)	45,882	53,966	48,897	47,622	47,308
授業料・使用料・手数料	16,407	16,569	18,023	17,815	17,711
財産収入	28,847	36,837	30,557	29,458	29,400
その他	628	560	317	349	197
歳 出 (2)	434,771	457,504	436,257	438,072	426,143
常勤職員	298,593	304,798	299,491	308,548	300,660
非常勤職員	45,747	45,237	45,089	43,591	45,626
修繕費	5,680	6,700	5,263	6,683	5,483
委託費	9,005	8,081	10,688	7,371	7,112
その他	75,746	92,688	75,726	71,879	67,262
歳入・歳出の差額 (1)-(2)	▲ 388,889	▲ 403,538	▲ 387,360	▲ 390,450	▲ 378,835
歳入・歳出の主な増減理由 ・歳入は牛、野菜等の出荷増減、授業料の減。歳出は人件費の増減。					

※1 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出を記入(総務調整費等、当該施設に係る科目以外からの支出も含める。)

※2 人件費は、当該施設の常勤職員及び臨時・非常勤職員の給与費・報償費を記入(常勤職員と臨時・非常勤職員を区分して記入)

※3 歳入・歳出科目は適宜加除修正すること

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	29年度	28年度	27年度	26年度	25年度
常勤職員	37	36	36	36	36
臨時・非常勤職員	26	28	28	27	28
合 計	63	64	64	63	64

7 施設利用の状況

農林部(学生延べ数)

区 分	29年度※	28年度	27年度	26年度	25年度
年間利用者総数(人)	24,156	27,522	29,700	29,106	29,304
学生延べ数(人)※1	24,156	27,522	29,700	29,106	29,304
学生実数	122	139	150	147	148
定員(人)	195	195	195	195	195
充足率(%)※2	62.6	71.3	76.9	75.4	75.9
利用者の主な増減理由	・学生の減少				

※1 学生延べ数は、学生実数に年間の課業日198日を乗じた数

※2 充足率は、学生実数/定員

研修部(研修生延べ人数)

区 分	29年度※	28年度	27年度	26年度	25年度
年間利用者総数(人)	4,316	4,555	4,885	4,837	5,433
有料利用者数(人)	0	0	0	190	148
無料利用者数(人)	4,316	4,555	4,885	4,647	5,285
利用者の主な増減理由	・有料宿泊施設の廃止(H27年度末) ・研修コース内容の改編				

※ 見込み数又は途中実績を記入

8 必要性及び管理運営方法の方向性

区分	内容
施設の必要性	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 県の施設としてこのまま存続 <input type="checkbox"/> 県の施設として事業規模等を縮小して存続 <input type="checkbox"/> 市町村に移管・譲渡 <input type="checkbox"/> 民営化・民間譲渡 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p> 本校は近代的施設を備え、実践力・経営力・人間力を涵養するバランスある教育方針に基づき、農林業技術及び経営管理に関する専門的かつ高度な能力を有する担い手を育成している。また、定年帰農者や他産業等からの就農希望者に対応するため「ぐんま農業実践学校」(就農準備校)を開設し、本県農業の担い手育成に努めている。 </p> <p> 担い手の育成は、県農政の重要課題として位置づけられており、本校は本県唯一の公立農業系高等教育機関であり、今後も本校の果たす役割は大きい。 </p>
指定管理者制度	<p> <input checked="" type="checkbox"/> 県直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度導入 <input type="checkbox"/> その他 </p> <p> 本校は学校教育法第124条に基づく専修学校であり、学校教育法に基づき、本校の管理運営を包括的に指定管理者に委託することはできない。 </p> <p> また、教育課程の管理運営は県直営とし、施設管理業務及び教育課程外の管理運営を指定管理者に委託することについては、既に一部の施設管理業務は外部委託を行っているが、教育課程外の業務規模と併せても、指定管理者制度を導入するメリットはないと思われる。 </p>
業務等の見直し	<p> <input type="checkbox"/> 見直しの検討が必要なものがある <input checked="" type="checkbox"/> 当面見直しの必要はない </p> <p> 学校運営自体の業務で見直しを行うものは当面はないが、時代の変化やニーズ等によりカリキュラムの改編等を行っており、学生の安定した確保に努めている。研修事業についても、多様な担い手の確保のため、毎年、その内容の改善を図っているところである。 </p>

教 育 施 設

1 土 地

所 在 地	面 積	備 考
箕郷町西明屋（敷 地）	1 0 1, 6 9 0. 9 6 m ²	
” （ 畑 ）	1 1 5, 9 7 9. 3 3 m ²	
箕郷町松之沢（学校林）	2 5, 3 4 2. 0 0 m ²	
箕郷町西明屋ほか（原 野）	3 6, 9 7 8. 0 0 m ²	
箕郷町西明屋（ 畑 ）借地	4 8 7. 0 0 m ²	
箕郷町柏木沢（ 畑 ）借地	5, 2 2 1. 0 0 m ²	
箕郷町柏木沢（ 田 ）借地	1, 2 0 5. 0 0 m ²	
合 計	2 8 6, 9 0 3. 2 9 m ²	

2 施設及び規模

(1)一般教育施設

施 設・建 物	数 量	面 積	内 容	備 考
教 育 棟	1 棟 (3階建)	3, 5 2 7 m ²	校 長 室 1室 事 務 室 1室 職 員 室 2室 会 議 室 2室 講 師 控 室 1室 図 書 室 1室 実 験 室 2室 大 教 室 2室 教 研 室 16室 研 究 室 4室	農林部及び研修部 生物及び化学実験室 大教室1室は視聴覚教室を兼ねる 情報処理室4室を含む 製図室1室
体 育 館	1 棟	6 9 9 m ²		
風 呂 場 棟	1 棟	5 5 0 m ²		
冴 羽 寮	1 棟 (3階建)	2, 2 1 9 m ²	寮 室 29室 生活相談員室 1室 談 話 室 3室 乾 燥 室 1室	1室 4人用 寮室のうち6室を女子寮化(H28.4)
黎 明 寮	1 棟 (3階建)	2, 2 8 1 m ²	寮 室 31室 生活相談員室 1室 洗濯・乾燥室 1室	1室 4人用
麗 心 寮 (女 子 寮)	1 棟 (2階建)	5 7 8 m ²	寮 室 9室 談 話 室 1室 洗濯・乾燥室 2室	1室 4人用
食 堂 棟	1 棟	5 0 0 m ²		
クラブ活動部室	2 棟	1 1 2 m ²		
学 生 ホ ール	1 棟	1 5 8 m ²		
グ ラ ウ ンド	1 面	1 5, 1 0 0 m ²		
テニスコート	3 面	2, 2 0 0 m ²		
合 計		2 7, 9 2 4 m ²		

(2)実践教育施設

施設 コース等		規 模			備 考
		施 設 ・ 建 物 等	ほ 場	家畜等	
共 通		生物工学実験棟 250㎡ 生物工学順化温室 177㎡			植物系実験及び順化施設
野菜 コース	施設野菜	現場教室 1棟 438㎡ 第1温室(硬質フィルム) 624㎡ 第2温室(硬質フィルム) 624㎡ 第3温室(ガラス) 495㎡ 第4温室(ホリカーポネット) 496㎡ 第5温室(硬質フィルム) 496㎡ 第6養液温室(ガラス) 4棟 665㎡ 第7温室(ガラス) 436㎡			キュウリ、トマト、ナス、スイカ、イチゴ
	露地野菜	育苗ハウス(ガラス) 500㎡ 資材庫(プレハブ) 20㎡ 現場教室 1棟 231㎡	畑 130a 社会人コース 畑 5a		ナス、ホウレンソウ、ブロッコリー、ダイコン、ネギ、カボチャ、キャベツ、ハクサイ、レタス、未成熟トウモロコシ
花き・ 果樹 コース	花 き	現場教室 1棟 248㎡ 花き温室(環境制御型・ガラス) 4棟 940㎡ 花き温室(環境制御型・ガラス) 4棟 608㎡ バラ専用ガラス温室 571㎡	畑 4a		鉢物(シクラメン、ポインセチア、アジサイ、カーネーション) 花壇苗(パンジー、マリーゴールド、サルビア等) 切り花(バラ、キク、トルコギキョウ、ストック)
	果 樹	果樹現場教室 1棟 97㎡ 果樹資材庫 1棟 40㎡ 果樹温室 1棟 475㎡	果樹園 65a		リンゴ、ナシ、ウメ、ブドウ、モモ、スモモ、カキ、ブルーベリー、オウトウ、育成ほ場等
酪 農 肉 牛 コ ー ス		現場教室 1棟 174㎡ 実習管理棟 1棟 178㎡ 牛舎 2棟 1,301㎡ (ミルクパーラー室含む) 地下室サイロ 総容量 144㎡ 牛糞発酵施設 336㎡ 畜糞乾燥施設 270㎡ オガ粉収納庫 34㎡ 格納庫 98㎡ 資材庫 171㎡ 豚舎* 3棟 972㎡ 隔離舎* 29㎡ 污水处理施設* 1基	飼料畑 365a	乳牛 成牛23頭 育成牛 11頭 繁殖和牛 12頭 (育成牛を含む)	年間生乳出荷量 約174t 年間子牛出荷(和牛・交雑種) 頭数 約7頭 *養豚コースが廃止のため使用していない。
農と食 コース		現場教室 1棟 336㎡ 格納庫 1棟 416㎡	畑 24a (ハイブハウス含む) 校外ほ場 畑 52a 田 12a		米、麦、ダイズ、エダマメ、サトイモ、ナス、ソバ、ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシ、サツマイモ
森林 コ ー ス		現場教室 1棟 129㎡ シイタケハウス 162㎡ 木材利用実習室 350㎡ きのご類菌床栽培施設 1棟 145㎡ きのご類作業舎 54㎡ 大桁森の家(演習林宿泊研修施設) 372㎡	学校林 2.5ha 演習林 大桁県有林使用 人工柵場 (2棟)5a		シイタケ、キクラゲ、ヒラタケ、木材加工、育林等